

アルミ合金製作業台 トールスコープ  
ご使用上の注意点および組立解説書  
(MODEL50524、50518、50512)



※本機を安全にご使用いただくために、  
ご使用前には必ず本書を読み、十分に理解してください。

エイハン・ジャパン株式会社

 **snorkel**

## ◇まえがき

この度は、スノーケルのアルミ合金製高所作業台インスタント・トールスコープをご採用いただきまして、誠にありがとうございます。  
本書には、インスタント・トールスコープの安全規則や取扱・組立について記載しています。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、十分に理解してください。  
組立やご使用についてご不明な点がございましたら、弊社事業所へ必ずご確認くださいますようよろしくお願い致します。

## ◇安全にご使用いただくために(安全規則)

本機の使用を誤ると死亡や重傷をともなう重大事故を招く危険があります。  
そうした重大事故を防止し、本機を安全にご使用いただくために、弊社が定めた以下の規則を必ず遵守してください。  
以下の規則に反したご使用をされ、それが原因で発生した事故についてはいかなる場合も弊社としては、責任を取りかねますので、予めご了承ください。

- ① 本機の搭乗者は、作業に適した身軽で動きやすい服装をし、**必ずヘルメットと安全帯を着用**してください。
- ② 本機のご使用前に、必ず機体各部の点検を行ってください。  
機体各部のボルト類に緩みや欠損がないか、またロック類に緩みやはずれがないか等を確実に点検してください。  
異常が発見された場合は、絶対に本機を使用しないでください。
- ③ 可倒式はしごは、周囲の安全を確認してからゆっくりと引き起こし、**備え付けのロックを用いて本体ベースに確実に固定させてください**。また確実に固定されているか必ず確認してください。  
固定が不十分な状態で使用された場合、はしごが転倒し、乗員の死亡や重傷を伴う重大事故が発生する危険があります。
- ④ **本体ベースが水平でない時は、転倒の危険がありますので絶対に本機を使用しないでください**。  
機体の水平は、可倒式はしごの最下部にある水準器で確認してください。
- ⑤ 本機をご使用の際は、**必ず4個のキャスターを確実にロックし、2本のアウトリガーを機体の左右方向へ十分に張り出して固定してください**。  
**アウトリガー先端のパッドが固い地盤に接地していること**。
- ⑥ **バスケット内に人や物が乗っている時や、バスケットが上昇状態にある時は、いかなる場合でも、アウトリガーやキャスターのロックを解除し、本機を移動させないでください**。  
このような状態で移動させると、本体が転倒し、乗員の死亡や重傷を伴う重大事故を招く危険があります。

- ⑦ 絶対に**バスケットの手すりに腰掛けたり、よじ登ったり、立ち上がった**りしないでください。このような行為をされた場合、バスケット外へ転落し、死亡や重傷を伴う重大事故を招く危険があります。
- ⑧ **バスケット内で踏み台や脚立・はしご等を絶対に使用しない**でください。このような行為をされた場合、バスケット外への転落の原因となり、死亡や重傷を伴う重大事故を招く危険があります。
- ⑨ **本機は一人乗り**です。絶対に定員を超えて使用しないでください。
- ⑩ 本機は全てのモデルにおいて、**最大積載荷重115kg**です。最大積載荷重を超えて使用しないでください。この基準を超えて使用された場合、本体が転倒し、乗員の死亡や重傷を伴う重大事故を招く危険があります。
- ⑪ 電線から3m以内で絶対に本機を使用しないでください。**本機は電氣的に絶縁されていません。**
- ⑫ 強風や大雨・大雪の悪天候時には絶対に屋外で本機を使用しないでください。  
強風……10分間の平均風速が毎秒10m以上の風  
大雨……1回の降雨量が50mm以上の降雨  
大雪……1回の降雪量が25cm以上の降雪
- ⑬ 一旦本機を組み立てた後は、本機をみだりに分解しないでください。
- ⑭ 以上の規則以外でも、乗員の死亡や重傷を伴う重大事故を招く危険がある無理なご使用は、絶対におやめください。ご使用方法に疑問や不安がある場合は、必ずご使用前に弊社事業所へお問い合わせください。

お問い合わせ先

**エイハン・ジャパン株式会社**

東京本社 東京都港区芝浦3-15-2 山本ビル3F

TEL:03-5765-6841 FAX:03-5765-6840

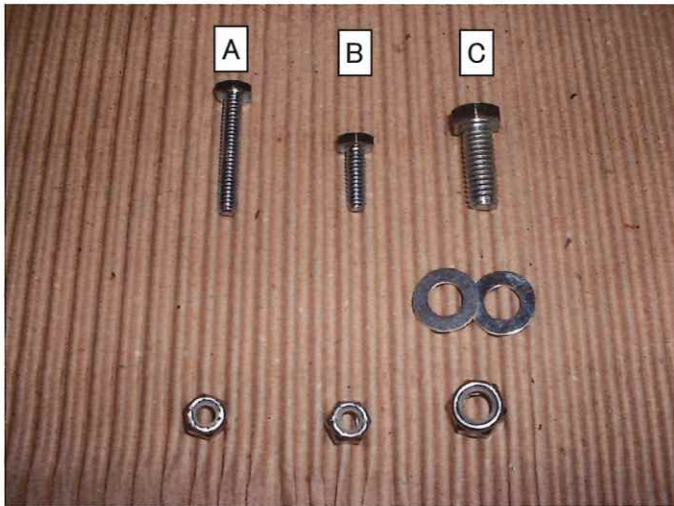
関西支店 大阪府摂津市鳥飼新町1-14-3

TEL:072-650-1950 FAX:072-650-1951

## ◇バスケット及び本体の組み立て



【部材一式】  
床板 1枚  
支柱A 2本  
筋かい 2本  
幅木 4枚  
横棧 1本  
ポスト 2本  
手すり 1枚



【ボルト各種】  
左から ボルトA  
          ボルトB  
          ボルトC  
          ワッシャー  
          ナット

【使用工具】  
モンキー(バスケットとはしご部分  
          の連結に使用)  
ラチェット ソケット7/16、9/16  
スパナ7/16



支柱と筋かい  
上/支柱 直立に使います。  
下/筋かい 斜めに使います。



幅木(側面用)

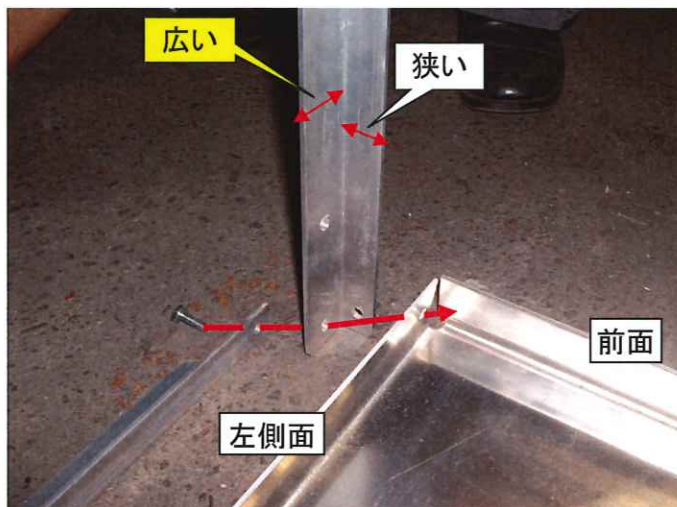
穴が端から遠い方が乗降口側です。



幅木(前面用および背面用)

上/前面

下/背面(乗降口側)



最初に支柱、筋かいを床板側面側に取り付けます (ボルトB)。

床板も穴が端に近い方が前面です。

支柱は幅の広い方が側面にきます。

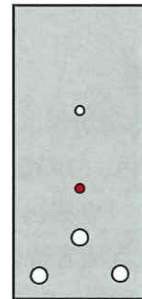
(注意)

ボルト留めは全て仮留め程度にしておいてください。

バスケットが一通り組みあがってから、完全に締め込みます。



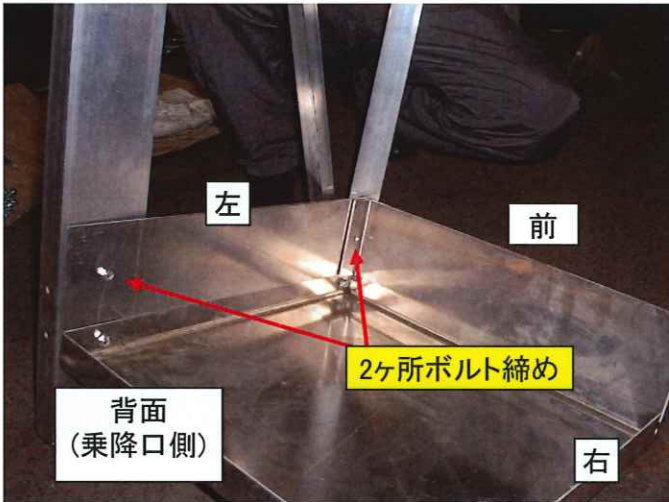
ポストA、Bを取り付けます。  
ゲートのバーがついている方が乗降口側から見て左側です。



上の図の赤色の穴を使用します(ボルトB)。



この状態です。



幅木を取り付けます(ボルトB)。



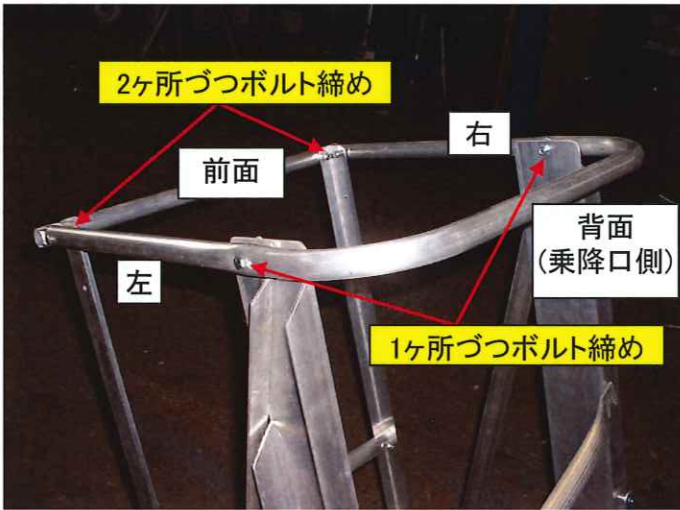
反対側の支柱、筋かい、ポスト、幅木も同じ要領で取り付けます。



前面に横棧を取り付けます(ボルトA)。



背面(乗降口側)に幅木を取り付けます(ボルトB)。

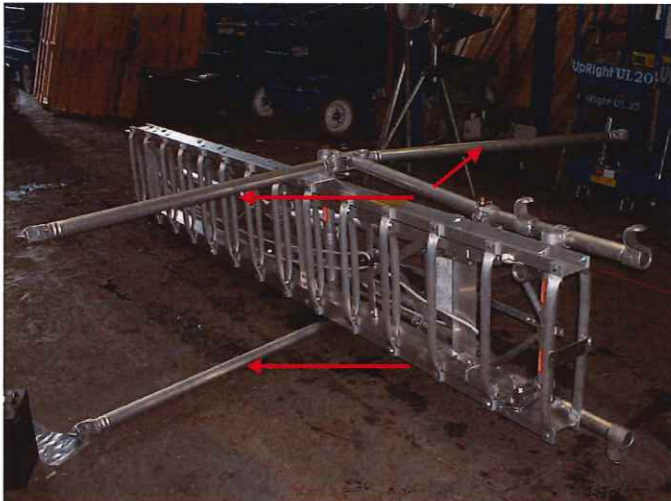


手すりを取り付けます(ボルトA)。

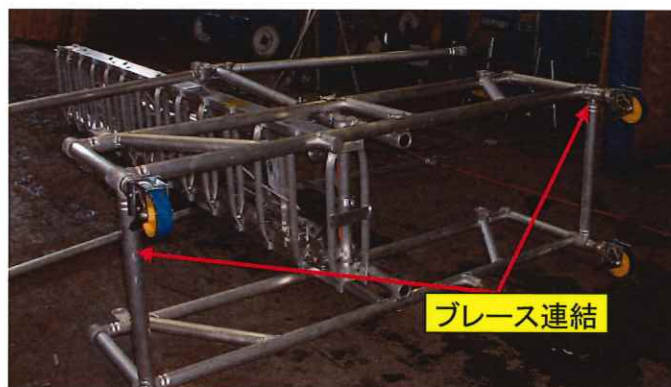




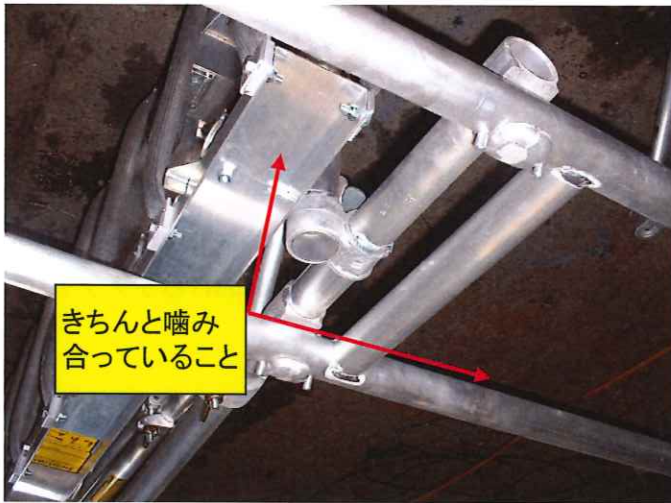
サイドパネルにキャスターを差し込みます。



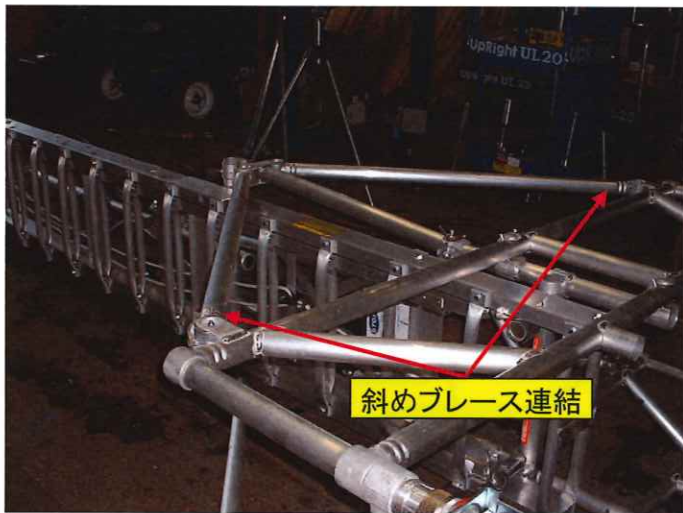
はしご部分の斜めブレースを広げ、用意します。



キャスターを取りつけたサイドパネルをはしご部分の両側に取り付け、ブレースで連結します。



はしご部分との連結状態



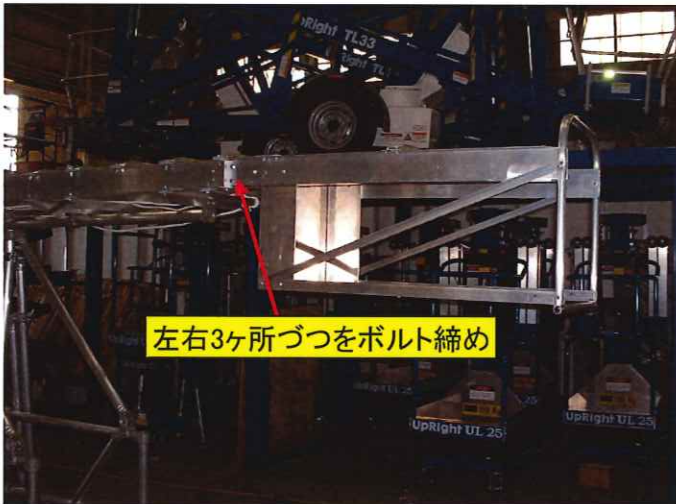
はしご部分の斜めブレースをサイドパネルに連結します。



はしご格納方法  
 サイドパネルと連結した斜めブレースを一旦はずし、アウトリガーをサイドパネルの外側へ出し、再び斜めブレースを連結します。  
 その後左図のフックを解除し、はしごをゆっくりと倒します。



乗り込み用ボードを設置



バスケットとはしごの連結  
ボルトCを用いて左図の場所、左右3ヶ所  
づつ(計6ヶ所)をしっかりとボルト締め  
します。

左右3ヶ所づつをボルト締め

以上で完成です。

